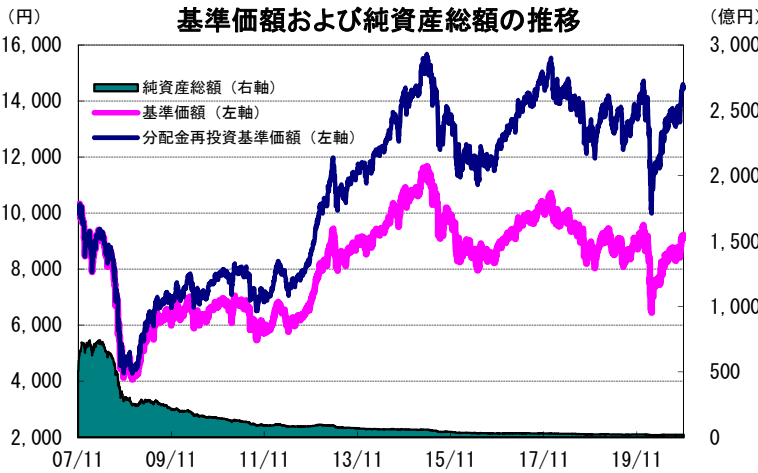


スパークス・アジア中東株式ファンド(隔月分配型) 基準日 2020年11月30日



* 当レポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。
 * 当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

設定日	2007年11月30日
信託期間	2027年11月10日まで
決算日	毎年1月、3月、5月、7月、9月、11月の各10日(休業日の場合は翌営業日)

基準価額	9,129円
純資産総額	19.46億円

ファンドの資産配分	
SPARX・アジア・ミッドイースト・エクイティ・インカム・ファンド	97.2%
スパークス・マネー・マザーファンド	0.5%
現金等	2.3%

【ご参考】

基準価額変動の要因分解(月次ベース)			
基準価額変動金額			1,058円
内訳	株式等	アジア太平洋地域	950円
		中東地域	26円
	為替		88円
	その他		-6円
	内訳		

* 金額は対象期間における基準価額(分配金込み)の変動を表したものです。
 * 上記は参考情報として当社が算出した概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。

* 基準価額は信託報酬控除後の値です。信託報酬には、投資対象とする投資信託分を含みます。
 * 分配金再投資基準価額は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金(税引前)を再投資したものと計算した理論上のものであり、実際の投資家利回りとは異なる点にご留意下さい。

騰落率	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
	7.91%	5.84%	22.39%	4.84%	-1.86%	44.47%

* 基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資し、計算しています。

分配金実績(税引前)

決算期	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期	第78期
	19/1/10	19/3/11	19/5/10	19/7/10	19/9/10	19/11/11	20/1/10	20/3/10	20/5/11	20/7/10	20/9/10	20/11/10
分配金	45円	45円	45円	45円	45円	45円	45円	45円	45円	45円	45円	45円
分配金累計	直近12期計		設定来合計									
	540円		3,540円									

ポートフォリオの配分

国・地域別配分

	国・地域	比率	比率
アジア太平洋	中国	20.5%	93.7%
	香港	19.6%	
	台湾	18.5%	
	オーストラリア	12.6%	
	その他	22.5%	
中東	UAE	1.4%	1.8%
	サウジアラビア	0.4%	
現金等	-	4.5%	4.5%
合計		100.0%	100.0%

通貨別配分

	通貨	比率
1	香港ドル	39.0%
2	台湾ドル	19.4%
3	豪ドル	13.2%
4	韓国ウォン	8.1%
5	インドルピー	4.8%
	その他	15.5%
	合計	100.0%

業種別配分

	業種	比率
1	情報技術	22.4%
2	金融	19.4%
3	一般消費財	16.4%
4	コミュニケーション	11.3%
5	生活必需品	10.3%
	その他	20.2%
	合計	100.0%

* 業種は世界産業分類基準(GICS)の分類に基づきます。

* スパークス・アジアの内部データを元に、スパークス・アセット・マネジメントが作成。
 * 比率はSPARX・アジア・ミッドイースト・エクイティ・インカム・ファンドを100%とした場合の構成比です。
 * P-NOTEやADR等に投資している銘柄の通貨は、現地通貨ベースで算出しています。
 P-NOTEとは、株式や株価指数の価格変動に運用成果が連動する債券のことです。
 ADRとは、主に米国で取引される、株式を代替する預託証券のことです。

■ 当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■ 当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込む場合があります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■ 投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■ 投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■ 当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■ 当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■ 当資料の正確性及び完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■ 当資料は目的によらず、当社の許可なく複製・複写することを禁じます。■ 当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。

スパークス・アジア中東株式ファンド(資産成長型)

基準日 2020年11月30日

基準価額および純資産総額の推移



* 基準価額は信託報酬控除後の値です。信託報酬には、投資対象とする投資信託分を含みます。
 * 分配金再投資基準価額は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金(税引前)を再投資したものと計算した理論上のものであり、実際の投資家利回りとは異なる点にご留意下さい。

騰落率	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
	7.68%	5.67%	21.31%	5.12%	-0.36%	187.24%

* 基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資し、計算しています。

* 当レポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。
 * 当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

設定日	2008年11月12日
信託期間	2027年11月10日まで
決算日	毎年11月10日 (休業日の場合は翌営業日)

基準価額	28,724円
純資産総額	0.28億円

ファンドの資産配分	
SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド	95.2%
スパークス・マネー・マザーファンド	0.0%
現金等	4.8%

【ご参考】

基準価額変動の要因分解 (月次ベース)			
基準価額変動金額			2,048円
内訳	株式等	アジア太平洋地域	1,893円
		中東地域	52円
	為替		175円
	その他		-72円
	現金等		

* 金額は対象期間における基準価額の変動を表したものです。
 * 上記は参考情報として当社が算出した概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。

分配金実績(税引前)

決算期	第3期	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期	第10期	第11期	第12期
	11/11/10	12/11/12	13/11/11	14/11/10	15/11/10	16/11/10	17/11/10	18/11/12	19/11/11	20/11/10
分配金	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円

分配金累計	直近10期計	設定来合計
	0円	0円

ポートフォリオの配分

国・地域別配分

	国・地域	比率	比率
アジア太平洋	中国	20.5%	93.7%
	香港	19.6%	
	台湾	18.5%	
	オーストラリア	12.6%	
	その他	22.5%	
中東	UAE	1.4%	1.8%
	サウジアラビア	0.4%	
現金等	-	4.5%	4.5%
合計		100.0%	100.0%

通貨別配分

通貨	比率
1 香港ドル	39.0%
2 台湾ドル	19.4%
3 豪ドル	13.2%
4 韓国ウォン	8.1%
5 インドルピー	4.8%
その他	15.5%
合計	100.0%

業種別配分

業種	比率
1 情報技術	22.4%
2 金融	19.4%
3 一般消費財	16.4%
4 コミュニケーション	11.3%
5 生活必需品	10.3%
その他	20.2%
合計	100.0%

* 業種は世界産業分類基準(GICS)の分類に基づきます。

* スパークス・アジアの内部データを元に、スパークス・アセット・マネジメントが作成。
 * 比率はSPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンドを100%とした場合の構成比です。
 * P-NOTEやADR等に投資している銘柄の通貨は、現地通貨ベースで算出しています。
 P-NOTEとは、株式や株価指数の価格変動に運用成果が連動する債券のことです。
 ADRとは、主に米国で取引される、株式を代替する預託証券のことです。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写をすることを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。

スパークス・アジア中東株式ファンド(隔月分配型)/(資産成長型)

基準日 2020年11月30日

組入上位銘柄

組入銘柄数	40
-------	----

NO	銘柄名	Pnote	国・地域	業種	組入比率	配当利回り
1	Taiwan Semiconductor Manufacturing Co Ltd		台湾	情報技術	7.2%	2.2%
2	AIA Group Ltd		香港	金融	7.2%	1.5%
3	Tencent Holdings Ltd		中国	コミュニケーション・サービス	6.7%	0.3%
4	Samsung Electronics Co Ltd		韓国	情報技術	5.8%	2.2%
5	MediaTek Inc		台湾	情報技術	5.3%	2.1%
6	Hong Kong Exchanges & Clearing Ltd		香港	金融	4.2%	2.1%
7	Transurban Group		オーストラリア	資本財・サービス	4.2%	2.8%
8	CSL Ltd		オーストラリア	ヘルスケア	3.9%	1.0%
9	Aristocrat Leisure Ltd		オーストラリア	一般消費財・サービス	3.5%	1.4%
10	eMemory Technology Inc		台湾	情報技術	3.1%	1.3%

* 上記の銘柄の中には現株を含みます。
 * 個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。
 * 上記銘柄については将来の組入れを保証するものではありません。

* 比率はSPARKX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンドを100%とした場合の構成比です。
 * 配当利回りは12ヶ月配当利回り(税引前)です。
 * 業種は世界産業分類基準(GICS)の分類に基づきます。

地域別組入上位銘柄の概要

アジア・太平洋地域

アジア太平洋	銘柄名	Pnote	国・地域	銘柄概要
1	Taiwan Semiconductor Manufacturing Co Ltd		台湾	台湾積体回路製造 [TSMC/台湾セミコンダクター] (Taiwan Semiconductor Manufacturing Company Ltd.) は半導体メーカー。ウエハー製造、ブロービング、組み立て、テストのほか、マスクの製造、設計、関連サービスを提供。同社の IC (集積回路) はコンピュータ、通信、消費者向け電子製品、自動車、産業機器などに使用される。
2	AIA Group Ltd		香港	友邦保険控股 [AIAグループ] (AIA Group Ltd.) は生命保険および金融サービス会社。個人・企業向け生命保険、傷害疾病保険、年金プランならびに健康管理サービスを提供。
3	Tencent Holdings Ltd		中国	騰訊 [テンセント・ホールディングス] (Tencent Holdings Limited) は投資持株会社。中国、米国、欧州などのユーザーにインターネットおよびモバイル付加価値サービス (VAS)、オンライン広告サービス、電子商取引サービスを提供する。
4	Samsung Electronics Co Ltd		韓国	サムスン電子 (Samsung Electronics Co., Ltd) は電子機器・電気製品メーカー。半導体、パソコン、周辺機器、モニター、テレビなどをはじめとする民生用ならびに産業用電子機器・製品を製造、販売。エアコン、電子レンジなどの家電製品や、インターネット・アクセス・ネットワーク、携帯電話などの通信機器システムも製造する。
5	MediaTek Inc		台湾	聯発科技 [メディアテック] (MediaTek Inc.) は、無線通信およびデジタルマルチメディア・ソリューションのファブレス半導体メーカー。無線通信、高解像度テレビ、光ディスク、DVD、ブルーレイ製品向けのSOCシステムソリューションを提供する。

中東地域

中東	銘柄名	Pnote	国・地域	銘柄概要
1	First Abu Dhabi Bank PJSC		UAE	ファースト・アブダビ・バンク (First Abu Dhabi Bank PJSC) は銀行。預金、個人向けローン、e-バンキング、貿易金融、外貨取引、その他の銀行サービスを手掛ける。世界各地で事業を展開。
2	Saudi British Bank/The		サウジアラビア	サウジ・ブリティッシュ・バンク (Saudi British Bank) は、預金業務、リテールおよびコマース・バンキング・サービスを提供。消費者・シンジケートローン、仕組み債、プロジェクト金融、証券仲介、ファイナンシャル・プランニング、プライベート・バンキング、ミューチュアルファンド、ファクタリング、財務サービスなどを手掛ける。

* 上記は個別銘柄の取引を推奨するものではありません。
 * 上記銘柄については将来の組入れを保証するものではありません。
 * 出所: 各社ホームページ

* 上記はSPARKX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンドの組入上位銘柄です。
 * ADRとは主に米国で取引される、株式を代替する預託証券のことであり、元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込む場合があります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なく複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。

スパークス・アジア中東株式ファンド(隔月分配型)/(資産成長型)

基準日 2020年11月30日

コメント

■市場環境

《アジア株式》

11月のアジア株式市場は、タイ、シンガポール、韓国などが堅調に推移しました。

新型コロナウイルスの新規感染者数は世界中で過去最高を記録し続けましたが、新型コロナウイルスワクチンの進展に関する報道などによって投資家心理が改善しました。

米国大統領選挙が終了し、米国の新政権への移行作業と新たな景気刺激策が注目されています。成長株とモメンタム株（材料株）がアンダーパフォームした後、バリュー株（割安株）とシクリカル株（景気敏感株）は大幅に反発しました。投資家は景気回復を視野に入れ、新型コロナウイルス感染拡大によって影響を受けたと判断した企業の株式保有高を調整しようとしてきました。金融セクターと素材セクターがアウトパフォームしました。

中国では、当ファンド組入銘柄のAlibaba Group Holding（中国/一般消費財）の金融関連会社Ant Financials社の新規株式公開（IPO）が中止され、インターネット大手の反トラスト規則が協議されると、複数のeコマースおよびニューエコノミー関連銘柄に利益確定売りの動きがみられました。

ただし、当ファンド組入銘柄のTaiwan Semiconductor Manufacturing Company（台湾/情報技術）やSamsung Electronics（韓国/情報技術）などのテクノロジー・ハードウェア関連銘柄の株価は、5G（第5世代移動通信システム）、データセンター、Wi-Fiなどの需要が業績を牽引する中で、株価が堅調に推移しました。

当月、ASEAN諸国の株価は堅調でした。ASEAN諸国と中国、日本、韓国、オーストラリア、ニュージーランドとの東アジア地域包括的経済連携（RCEP）合意により、世界の人口とGDP（国内総生産）のそれぞれ約三分の一を占める同地域内の貿易および投資が増加するでしょう。

インドでは、銀行関連企業や日用消費財関連企業の業績が予想を上回り、改善の兆しが見られました。

《中東株式》

当月の中東株式は堅調に推移しました。

中でもドバイとサウジアラビアの株式市場が堅調でした。新型コロナウイルスワクチンの進展に関する報道に加え原油価格の上昇などによって、投資家心理が改善しました。

《通貨》

当月、アジア地域の通貨は、対日本円でまちまちの値動きをみせました。

オーストラリアドル、インドネシアルピア、タイバーツなどが対日本円で上昇しました。一方で、香港ドルと台湾ドルなどは対日本円で下落しました。

■運用状況

《アジア株式》

当月、当ファンドが保有する株式のリターンはプラスとなりました。

セクター別では、金融セクター、情報技術セクター、一般消費財セクターがパフォーマンスに貢献し、マイナスに影響したセクターはありませんでした。

国別では、香港、オーストラリア、韓国などがパフォーマンスに貢献し、中国が若干マイナスに影響しました。

個別銘柄では、AIA Group Ltd（香港/金融）、Samsung Electronics（韓国/情報技術）、Taiwan Semiconductor Manufacturing（台湾/情報技術）などがプラスに貢献しました。一方で、Alibaba Group Holding（中国/一般消費財）、Tencent Holdings（中国/情報技術）、momo.com（台湾/一般消費財）などがマイナスに影響しました。

当月のパフォーマンスに貢献した銘柄の一つに、Samsung Electronics（韓国/情報技術）があります。

同社は韓国最大級の企業です。スマートフォンと家電製品で有名な同社は、メモリ、ファウンドリ、ディスプレイ事業でも強力なリーダーシップを発揮しています。デジタル化への継続的な需要が、同社の全セグメントに恩恵をもたらしていると、当ファンドは考えています。

以下がその理由です。

- ① スマートフォンのさらなる普及と5Gへの移行は、今後数年間の主な収益源である
- ② スマートフォン、サーバ、コンピューターメモリのアップグレード需要により、DRAM（Dynamic Random Access Memory）は構造的に成長し続けている
- ③ ファウンドリ事業において強力なリーダーシップと高い市場シェア（世界市場シェアは約16%）を有し、先進半導体製造技術の分野でTaiwan Semiconductor Manufacturing Company（同約50%）と競争できる唯一の企業。同社はTaiwan Semiconductor Manufacturing Companyとの差を縮めるために、2020年度に72億米ドル、2021年度に90億米ドルを投資すると予想されている。

(次ページへ)

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社（以下当社）が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なく複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書（交付目論見書）のご請求、お問合せは販売会社まで。

スパークス・アジア中東株式ファンド(隔月分配型)/(資産成長型)

基準日 2020年11月30日

コメント

(前ページより)

当月は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた銘柄も株価が回復しました。

AIA Group Ltd (香港/金融) は、保険代理店の売上高回復への期待感から大きく反発しました。同社四川省支社の開設を中国当局が認けるとのニュースも、同社中国事業の成長性を示しています。Aristocrat (オーストラリア/ソフトウェア)、CK Assets (香港/不動産) も北米地域および英国のバブ再開などによる収益回復への期待から株価が上昇しました。

当ファンドは、引き続き既存の投資先を注視し、また今後の投資先候補の企業に関する調査も継続することで、優れたビジネスモデル、良好なバランスシート、持続的な成長の見通しを備えた「優良企業」を選別してまいります。

《中東株式》

当月はFirst Abu Dhabi Bank (アラブ首長国連邦/金融) とSaudi British Bank (サウジアラビア/金融) がパフォーマンスにプラスに貢献しました。新型コロナウイルスワクチンの進展に関する報道などによる投資家心理と景気見通しの改善が要因です。

《通貨》

当月、アジア地域および中東地域の通貨は対日本円でまちまちの動きをみせましたが、全体的な為替変動は当ファンドのリターンにプラスに貢献しました。

■今後の見通し

《アジア株式》

今後6-12ヶ月で新型コロナウイルスのワクチンが世界中で徐々に利用可能になると思われるため、当ファンドは2021-2022年の世界経済の回復をポジティブに見ています。

低金利政策の継続、各国政府による景気刺激策、個人消費の再開が景気を下支えするでしょう。

当ファンドは、バイデン新政権の下で、米中関係が直ちに緩和することはないと予想しています。

e コマースおよびデジタル関連の企業は、今後も成長を維持するでしょう。当ファンドは、旅行関連産業、ホスピタリティ関連産業も次第に回復すると見えています。最近の中国当局によるインターネット大手企業に対する規制介入により、当ファンド組入銘柄のAlibaba Group HoldingやTencent Holdings、Meituan社などの複数のインターネット大手企業の株価が調整しています。これらの企業への当局の支配が強まるにつれて、当局動向は注目を集めるでしょうが、これは短期的な混乱に過ぎず、これらのインターネット関連企業は革新を続け、それと同時に当局の要求も満たしていくと、当ファンドは考えています。

また、新型コロナウイルスワクチン普及後のヘルスケアセクターの動向、特にデジタル医療セグメントも有望であると考えています。オンライン薬局の成長およびオンライン診療プラットフォームの成長は、患者、医療従事者、政府、保険者などに目に見える利益をもたらすでしょう。私どもは当ファンドの投資先候補を見極めるため、同セクターの調査およびモニターを継続してまいります。

「人口構成による下支え」「消費行動の変化」「インフラ支出」「新たなセクター・マーケットの発達」といったアジア地域の構造的トレンドは、長期的な投資を行って収益を得る機会を提供してくれるでしょう。私どもは、「消費」「インフラ」「技術革新」といった長期的テーマの恩恵に浴することが期待できる「優良企業」に注目することで、不確実な情報に惑わされて不合理な取引をすることのないように心掛けてまいります。

アジア地域は、こうした長期的かつ構造的なトレンドを活かせる質の高い投資先候補銘柄が多数存在する有望市場であると、私どもは考えます。

《中東株式》

原油市場の価格変動が激しく、地政学的リスクがあることから、当ファンドは中東の株式市場を慎重にみています。

原油価格の回復により、同地域の政府への財政圧力はやや緩和する可能性があります。経済の多様化への継続的な取り組みは依然として課題です。銀行セクターは短期的に不良債権への圧力に直面する可能性があります。

長期的には、銀行セクターのM&A (企業買収・合併) が引き続き中東地域の主な投資テーマの一つになるでしょう。当ファンドは、金融セクターの保有銘柄を引き続きポジティブにみています。

《通貨》

通貨は、短期的には資本フローの影響によって大きく変動すると思われませんが、長期的観点でみると、アジア地域および中東地域の経済のファンダメンタルズに力強さがみられることから、両地域の通貨は対日本円で上昇すると、私どもは考えます。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なく複製・複写をすることを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。